

名古屋市などの私立幼稚園の園児らによる「第二回幼児文化芸術祭」が二十三日、長久手市の愛・地球博記念公園（モリコロパーク）であった。園児や保護者ら約五百人が、ベートーベンの交響曲第九番を基にした「希望の歌」交響曲第九番」を盛大に歌い上げた。

名古屋、豊田市などの私立幼稚園八園でつくる財団法人幼児文化芸術協会が、幼児期に国内外の芸術文化に触れさせながら、親子の絆を深めようと昨年からは開いている。

園児ら第9熱唱

モリコロパークで文化芸術祭

この日は、七園の年中と年長の園児や保護者ら約千五百人が集まった。

年中児約四十人は親子ワルツを披露。その後の第九コンサートでは、年長児と保護者に加え、声楽家や演奏家約十人も出演。各園で練習し、この日初めて全員が一堂に会した。園児らは、プロの歌声や音色を間近で感じながら、日本語とドイツ語で元気に歌声を響かせていた。

そのほか、日舞やバレエの披露もあった。

（並木智子）

第9を盛大に歌う園児ら＝長久手市の愛・地球博記念公園で

